ROSÉ

富士市発エンターテイメント情報誌　ロゼ

2022 SUMMER Vol.120

TAKE FREE 無料

ROSÉ

富士市文化会館ロゼシアター　「情報誌ロゼ」 2022年6月発行（第120号・夏号）

■発行／公益財団法人富士市文化振興財団　〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地　TEL:0545-60-2510　■企画・編集・制作／公益財団法人富士市文化振興財団　タイムデザイン

INTERVIEW

Kitri(キトリ)

PROFILE

姉のMonaと妹のHinaによるピアノ連弾ボーカルユニット。クラシックをベースに持ちながら実験的な音楽を創造し独自の存在感を放つアーティストとして、2019年1月、日本コロムビア BETTER DAYS レーベルより 1st EP「Primo」でメジャーデビュー。同月、初のワンマンツアー「キトリの音楽会＃1」を開催。7月には 2nd EP「Secondo」を発表し「キトリの音楽会＃2」の全国ツアーを開催。2020年1月1st アルバム「Kitrist」を発表。ツアーは延期となったが、その間「Lily」、「人間プログラム」、「赤い月」と、起伏に富んだ楽曲の 3 作連続配信やライブで観客を魅了しているカヴァー曲のアルバム 「Re:cover」を制作、また「Kitriのきとりごとらじお」(FM大阪)のレギュラー DJを7月から務め常に精力的に世の中へ発信し続けた。二度の延期を経たツアー「キトリの音楽会 #3 “木鳥と羊毛”」を2021年1~2月に満を持して開催。2月に先行シングル「未知階段」で、新たな表現の扉を開け、4月に2nd アルバム「Kitrist II」をリリース。同月、京都のα-STATION でのレギュラー番組「Kitristime」(キトリスタイム)もスタート。6月には、神谷洵平(Dr.)、千葉広樹 (B.)、副田整歩 (Sax.) を迎えてのKitri初のバンド編成で「Kitri & The Bremenz Live」と題し、Billboard Live 横浜と大阪でのライブ開催。同年11月、アニメ『古見さんは、コミュ症です。』(テレビ東京系)主題歌である楽曲「ヒカレイノチ」リリースは、サブスクリプション配信による海外からの支持が高く話題を呼んだ。12月毎年恒例の「キトリの音楽会＃４」をギターの羊毛、チェロの吉良都を迎え“羊飼いの娘たち”と題し大阪、福岡、東京、金沢で開催した。

ロゼシアター on demand

ロゼシアターのさまざまな記録や作品を色々な角度からご覧いただけるコンテンツまたその最新情報をご紹介！

～YouTube vol.3～

２020年にスタートしたYouTube公式「ロゼシアターチャンネル」では、現在５０本を超える動画を公開しています。ロゼシアターを代表する市民ミュージカルのほか、市民演奏家によるコンサートやアウトリーチ事業と呼ばれる育成事業の様子などをお届けしています。
今回は2022年3月から4月にかけて公開された２タイトルをご紹介します！

「ロゼシアター市民ミュージカル『Ｈｅａｒｔ』」

同年２月６日に無観客開催されたロゼシアター市民ミュージカル『Ｈｅａｒｔ』の収録作品です。Ａキャストと Ｂキャストの２公演を、定点カメラで撮影した『定点録画版』とカット割りなどの編集を行った『編集版』をそれぞれ公開しています。

「新進アーティスト作品展vol.20」

同年３月に催された新進アーティスト作品展を主観カメラでご覧いただける動画です。新進気鋭のアーティストたちによる熱意ある作品をご堪能ください。

チャンネル登録お願いします！！YouTube公式「ロゼシアターチャンネル」

二〇一九年にデビュー。その独自の世界観から一躍注目を集めた「Kitri キトリ」初めての富士公演を前にお話を伺いました。

まずは自己紹介をお願いします。

Mona（写真左側。以後、M）姉妹で活動しているピアノ連弾ボーカルユニットのKitriです。一台のピアノに二人で並んでピアノを弾く連弾スタイルで、歌も歌っています。私、姉のMona（モナ）は作詞作曲とピアノの低音部、ボーカルを担当しています。妹のHina（ヒナ）は作詞とピアノの高音部、コーラス、加えてギターやパーカッションも担当しています。

お名前の由来を教えてください。

Hina（写真右側。以後、H）クラシック・バレエの演目としてもお馴染みの小説『ドン・キホーテ』に登場するキトリという名前の少女が由来となっています。現実と空想を行き来するような物語が私たちの音楽の世界観とマッチすると思ったことや、私たちがクラシック音楽からも影響を受けているということから名付けました。また「キトリ」はフランス語で「意気地なし」という意味もあり、二人で力を合わせて勇気を出していきたいという希望も込めています。

姉妹で活動を始めたきっかけを教えてください。

M：私が中学生でHinaが小学生だった頃、ピアノの先生から連弾を勧めてもらい、二人で発表会に出たことがありました。その時に「二人で一つの音楽を奏でる連弾って、なんて楽しいんだろう！」と強い印象を受けました。それ以降、Hinaは高校に入って部活動の合唱に専念し、私は変わらずピアノを続けていたのですが、Hinaとの連弾が忘れられませんでした。将来何をしたいかと考えた時に、連弾をしながら歌うユニットを結成したら、まだあまり人がやっていない音楽ができるのではないかと思ったんです。その後、私からHinaを誘って活動を始めました。

姉のMonaさんはどんな方ですか。

H：誰も気づかなかった部分や光の当たらなかった場所にフォーカスし、新しい気付きやアイディアを生み出すのが得意な人だと思います。また、日頃から人の気持ちに寄り添い思いやりを持って行動できるタイプです。真面目で誠実がゆえに深く考え過ぎてしまうこともあり、疲れるのではないかと心配な時もありますが、その心の柔らかさや繊細に物事を捉える力がKitriの音楽の芯を作っているのだと思います。一緒にいて安心できる存在です。

妹のHinaさんはどんな方ですか。

M：自分がやってみたいことや実現したいことに対して、日々コツコツと努力できる人だと思います。Kitriの活動を始めてからは新しい楽器に挑戦したり、作詞を始めたり、絵を描いたり、色んなことにトライして活動の幅を広げています。いつもHinaに、聞いてほしい悩みやその日あったできごとを話すのですが、そんな時、自分の考えを言うというよりはただ共感してくれることが多く、さり気なく包み込んでくれるような妹だと思います。

印象的なKitriさんの楽曲はどのように生み出されるのでしょうか。

M：まず作りたい曲のイメージを浮かべて、二人で楽曲のテーマを決めます。歌詞の題材を決めることもあれば、大まかな音楽ジャンルをイメージすることもあります。毎回、表現したことのない世界観の楽曲を作ることを心がけています。テーマが決まったら、私が歌のメロディーから作り始め、曲ができてきた段階で曲によって二人で分担して作詞をします。曲作りの最中に「これでいいのかな？」「この歌詞で伝わるかな？」と不安になったり自信が持てなくなったりした時は、お互いに意見を求めながら作品がより良いものになるように努めています。

特に思い入れのある曲はどの曲ですか。

H：どの曲も思い入れがありますが、昨年リリースした「ヒカレイノチ」という曲です。初めてアニメのエンディング主題歌として書き下ろした曲ですが、日本国内や海外の方からも「今日一日頑張ろうと思えました」「励まされました」といったコメントをいただき嬉しかったです。日々色々なことが起こる世の中で、この曲が私たち自身にとっても希望の光のようになってくれていて、とても大切な一曲です。

M：メジャーデビュー時のリード曲「羅針鳥」は思い入れの強い一曲です。まだデビューが決まる前に「これからKitriはどんな音楽を作っていけばいいんだろう？」と悩んでいた時期がありました。そんな時に、これまで影響を受けてきたクラシック音楽のフレーズを取り入れたこの曲が完成し、私たちのやっていきたい音楽はこれだ、と思えたんです。また、全国各地のラジオでパワープレイしていただき、この曲で少しずつKitriを知っていただいたこともあって、私たちのデビューの第一歩を後押ししてくれた大事な楽曲になりました。

コロナ禍により配信での活動も多い中、コンサートにむけての思いなどありますか。

M：コロナ禍で自宅での制作が増えた中、音楽を通してお客様と同じ空間でコミュニケーションを取り、過ごすひとときは格別です。そのコンサートでしか感じられない温度感や会場での音の響き、一体感をお楽しみいただけたら嬉しいです。

今回のコンサートの構成、聞きどころなどご紹介ください。

H：今回はピアノ連弾に加え、ギターの羊毛（市川和則）さんと、チェロの吉良都さんをお迎えしてアコースティック編成でのコンサートを予定しています。私たちの歌のハーモニーやそれぞれの生楽器の重なり合いを、心地良く、リラックスしてお楽しみいただける時間にしたいと思っています。

最後に初公演となる富士のお客様へメッセージをお願いします。

H：景観の美しい富士市でコンサートをさせていただけること、とても嬉しく思っています。Kitriの音楽をじっくり味わっていただけるよう準備しておりますので、ぜひご期待ください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

M：いつも新幹線から遠くに見える美しい富士山を写真に収めていましたが、今回初めて、その富士山のある富士市とのご縁をいただき、ライブができることを大変嬉しく思います。皆様と素敵なひとときを過ごせるコンサート当日を心待ちにしています。

ありがとうございました。

文／渡井理惠

公演情報

Kitri～キトリコンサート2022～

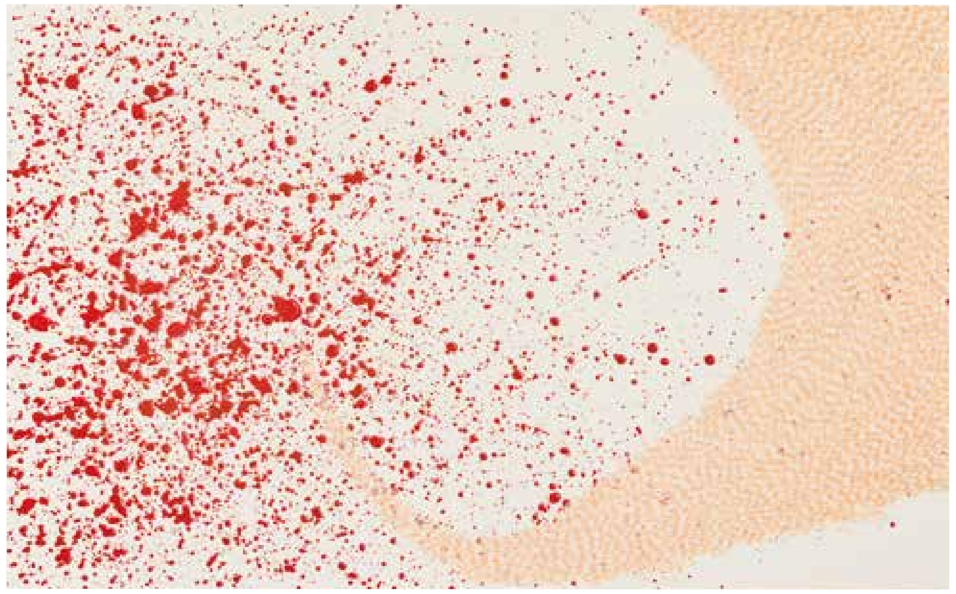
◆2022年 9月4日(日) 開場17:30 開演18:00
◆富士市文化会館ロゼシアター 中ホール
◆入場料：(全席指定・税込) 均一4,800円 ※未就学児入場不可
◆チケット発売日 WEB：6月29日(水)10:00～
窓 口：6月30日(木)10:00～

PICK UP ARTIST

新進アーティスト作品展vol.20　Art Generation 2022

※新進アーティスト作品展…静岡県内の18〜35歳を対象とする美術の公募展

優秀賞受賞　落合 京（おちあい けい）



「1st　AID #9」

◀「1st　AID #9」(部分)

受賞の感想を。

とても驚きました。数年前から創作活動はしていますが、昨年秋、知人にこの公募展のことを教えてもらい初めてこういうものに参加したので、いまだに信じられない気持ちです。会場で恩師や友達に作品を見てもらえてうれしかったです。

作品名に番号がついていますが。

この作品は1ｓｔ ＡＩＤ(ファーストエイド)シリーズの9作目で、公募展のために制作しました。このシリーズは4年前からつくり始めていますが、今回のサイズはM50※、1作目はF0※(エフゼロ)で大きさは様々です。7作目は未完成で、5作目は手元にありません。基本的に自分が見てみたいものをつくるので、絆創膏と血しぶきが戦っていたらすごいだろうなと純粋に思って制作しました。

大量の小さな絆創膏について。

最初は通常の大きさの絆創膏を使う予定でしたが、戦わせることになると“絆創膏の群れ”が必要になって、比率を考えるとキャンバスも大きくしないといけないので、一つ一つ自分で作ることにしました。小さいサイズとなるとある程度の量が必要になってきて、5000枚ほど作りました。紙に型を書いて、切りぬいて、下書きの線を消して、本物のように針で穴を開けて、ガーゼ用の白い紙を貼りました。一連の作業で長い時間自分の手で触れているせいか、絆創膏を生き物として見てしまうところがあって、より“群れ”という発想に繋がったと思います。自分で作ったものですが、そのものに対してのリスペクトの気持ちが生まれてきました。完成まで約半年ぐらいかかりましたが、作業が苦しいと思ったことはなく、手の動きも呼吸しているように自然な感じでした。

今後の活動について。

コロナの影響で外出も難しくて、気持ち的に作品づくりも思うようにすすんでいなかった時に、この公募展のことを知り作品をつくり始めました。初めて出会った人やモノと繋がることができるので、こういう縁は大事にしたいと思っています。日本は広いしこれだけ人が大勢いるなかで、一生会わないで終わる人もいるし、一生触れることなく終わるモノもあるし、一生行かない場所もある。ロゼシアターにも初めて来ました。誰かに教えてもらったり、すすめられたり、場合によっては向こうからアプローチが来たり、自分の生活圏外から来るものって、流れ星みたいな感じで、何か引き寄せるものがあると思います。絵を描かない時期もありましたが、自分はやっぱり絵を描くのが好きだということがわかりました。今年の目標として個展の開催を考えていたので、来年本当に開催できるのは良かったと思います。

作品に注いだ作家の情熱をあらためて感じました。ありがとうございました。

★次回公募展開催時に、「落合京作品展」を同時開催予定です。

※M50=1167×727　F0=180×140　単位(mm)

Report

事業実施レポート

ミュージカル体験ワークショップ

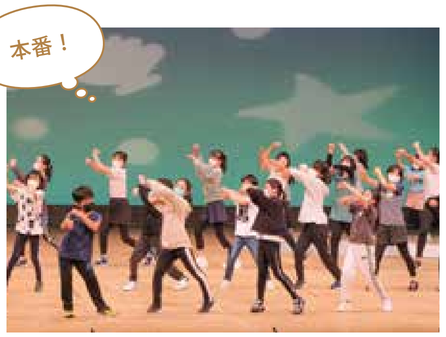
MUSICAL WORKSHOP

2022.3/26・27
中ホール

令和四年三月二十六日・二十七日の二日間に渡り、ロゼシアター中ホールでミュージカル体験ワークショップを開催しました。

このワークショップは小学校三年生から高校三年生までのミュージカル未経験者を対象として参加者を募り、催されました。参加者は総勢三十二人。ダンス経験のない方も多く集まりました。この二日間で歌唱稽古とダンスの振付・フォーメーションの稽古を行い、ひとつのミュージカルナンバーを作り上げます。

指導者には、例年催されているロゼシアター市民ミュージカルで講師を務める、華城季帆氏、安藤絢子氏の両名を迎えました。稽古には市民ミュージカルの先輩出演者たちも参加し、後輩たちにお手本を示してくれました。



本番！

振付稽古

歌唱稽古

二日目の稽古を終え、最後に保護者が見守る前で成果発表を行いました。短期間の稽古でしたが、ワークショップ参加者と講師陣、両者の頑張りの成果が表れていました。

参加者からは、このワークショップの参加経験を通じ、市民ミュージカルに参加したいとの声も多くいただきました。

市民ミュージカルはロゼシアターが主催する市民参加企画で、小学校四年生から一般までの幅広い市民が参加します。稽古期間は五月から十月までの約半年間。

出演者だけでなく、製作スタッフまで市民が参加し作り上げるこのミュージカルは、十月二十三日に本番を迎えます。ご興味を持たれた方は是非ご覧ください。

EVENT SCHEDULE 2022 7〜9

イベントスケジュール　2022年7月〜9月

ロゼシアター主催事業のご案内

7月 ロゼシアター映画上映会「シネマ歌舞伎」

昼の部 13:00上映開始「野田版 桜の森の満開の下」
夜の部 17:30上映開始「歌舞伎NEXT 阿弖流為〈アテルイ〉」

日　時：**7月9日(土)　各1回上映**
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)　一般 2,200円　学生 1,500円
※未就学児入場不可

©松竹株式会社
野田版 桜の森の満開の下

©Sakiko Nomura
阿弖流為〈アテルイ〉

7月 ロゼ・クラシックカフェ・コンサートvol.7 やさしい風が運ぶもの 〜ギターとチェロの午後〜

日　時：**7月2日(土)　開場13:30　開演14:00**
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込) 一般 4,000円　学生 1,000円
※未就学児入場不可

© SHIMON SEKIYA
ギター／大萩康司

©Yoshinobu Fukaya
チェロ／新倉瞳

©新津保建秀
ナビゲーター／浦久俊彦

7月 ロゼこどもコンサート

日　時：**7月30日(土)**
1回目／開場10:00　開演10:30
2回目／開場12:30　開演13:00
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)　均一　500円
※0歳から入場可　※3歳以上有料、2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞可

前回の様子

7月 歌ネタ四銃士 爆笑浪漫飛行 〜歌ネタライブ〜

嘉門タツオ　テツandトモ　AMEMIYA　どぶろっく

日　時：**7月10日(日)　開場14:15　開演15:00**
会　場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
均一 4,000円　※未就学児入場不可

嘉門タツオ

テツandトモ

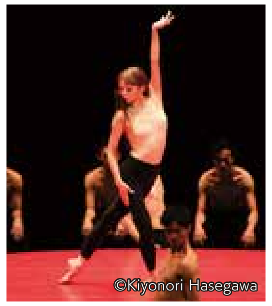
AMEMIYA

どぶろっく

8月 東京バレエ団　全国ツアー HOPE JAPAN 2022 「ボレロ」「ギリシャの踊り」「パキータ」

日　時：**8月4日(木)　開場17:45　開演18:30**
会　場：大ホール
入場料：S席：10,000円
A席：8,000円
B席：6,000円
C席：4,000円
※学生席(小学校1年生〜高校3年生)は各席種の半額
※未就学児入場不可

発売中


©Kiyonori Hasegawa
ボレロ　上野水香

8月 ロゼ・こどもサマーフェスティバル スタンプラリー

日　時：**8月3日(水)**
会　場：会議室、展示室ほか
参加費：無料(要事前予約)

予約開始日
7月15日(金)Webのみ

8月 ディズニー・ワールド・ビート 2022 JAZZ ANIMALS 〜夢を奏でる動物たち

日　時：**8月21日(日)　開場16:00　開演17:00**
会　場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
S席　8,700円
A席　7,600円
学生　3,000円
※未就学児入場不可

発売日
Web：6月23日(木)
窓 口：6月24日(金)

Presentation licensed by Disney Concerts. ©Disney

8月 ロゼ・こどもサマーフェスティバル ホール探検隊

日　時：**8月8日(月)・9日(火)**
会　場：大ホール
参加費：無料(要事前予約)

予約開始日
7月7日(木)10:00〜
電話受付のみ

9月 Kitri 〜キトリコンサート2022〜

日　時：**9月4日(日)　開場17:30　開演18:00**
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
均一 4, 800円
※未就学児入場不可

発売日
Web：6月29日(水)
窓 口：6月30日(木)

8月 ロゼ・こどもサマーフェスティバル トレインフェスタ

日　時：**8月27日(土)・28日(日)**
会　場：展示室
参加費：無料(要事前予約)

予約開始日
7月28日(木)Webのみ

9月 劇団四季ミュージカル『ロボット・イン・ザ・ガーデン』

日　時：**9月25日(日)　開場17:45　開演18:30**
会　場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
S席：9,900円
A席：6,600円
B席：3,300円
※公演当日、3歳以上有料、2歳以下のお子様は入場不可。

撮影：阿部章仁

発売日　Web：7月16日(土)　窓 口：7月19日(火)

9月 ドス・デル・フィドル(ヴァイオリン・デュオ)〈石田泰尚 ・﨑谷直人〉

日　時：**9月23日(金祝)　開場14:30　開演15:00**
会　場：中ホール
入場料：(全席指定・税込) 一般：4,000円　学生：1,000円
※未就学児入場不可

ドス・デル・フィドル

©Takafumi Ueno
ピアノ：山中惇史

発売日　Web：7月21日(木)　窓 口：7月22日(金)

WEB購入手順

1 ロゼシアターホームページ http://rose-theatre.jp（24時間対応）
2 「ロゼフレンドシップ」へログイン　※チケット購入には「ロゼフレンドシップ」の登録が必要です
3 公演・座席選択　「座席指定して予約」より座席を選択可能
4 支払方法・チケット引取方法　選択　クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください　※発売初日は10:00からの販売となります　※「学生券」は25歳以下の学生が対象です　※購入後の変更・キャンセルはできません

※最新情報は、ロゼシアターホームページをご覧いただくか、直接お電話にてお問い合わせください。

劇団四季の魅力

優しさあふれる劇団四季オリジナルミュージカル
～「2020年ミュージカル・ベストテン」作品部門 第1位～

ロボット・イン・ザ・ガーデン

Based on the novel by Deborah Install

絵：酒井駒子

壊れかけのロボットとの出会いが、止まっていた男の人生をふたたび動かし始める----。2015年に、イギリスの作家デボラ・インストールによって生まれた小説『ロボット・イン・ザ・ガーデン』は、世界各国で多くのファンに愛されています。
日本でも小学館文庫により出版され人気を博し2022年には「TANG タング」のタイトルで映画化されることも決まっています。
そんな物語を劇団四季がオリジナルミュージカルとして舞台化。

心に傷を抱えた男と壊れかけのロボットによる、トラブルだらけの旅。イギリスを飛び出し、アメリカ、日本・・・。やがてふたりは心を通わせていく・・・。大切なものに気づき、成長していく物語を、オリジナルの楽曲と華やかな演出で彩ります。
さあ、あなたもロボットと、心温まる旅にでかけてみませんか？

撮影：阿部章仁

【STORY】

アンドロイドが人間に代わって家事や仕事を行う、
今からそう遠くない未来。
イギリスの田舎町に住むベンは両親を事故で失って以来、
無気力な日々を過ごしていた。
妻・エイミーとの夫婦仲もうまくいかない。
そんなある日庭に壊れかけのロボットが現れる。
「君の名前は？」「…タング」
ロボットに不思議な魅力を感じ、ベンはあれこれと世話を焼く。
そんなベンに愛想を尽かし、ついに家を出て行くエイミー。
ショックを受けるベンだが、
タングを修理するため旅に出ることを決意する。
アメリカ、そして日本へ。やがて、ある事実が明らかになる…。

撮影：上原タカシ

撮影：阿部章仁

【ベンとタングの世界旅行】

ベンとタングが出会ったイギリスから出発し、アメリカ、
日本、パラオ・・・と続くふたり旅。
物語に登場する数々の場所を世界地図でご紹介します。

❶イギリス／ハーリー・ウイントナム
イギリス南部の田舎町。美しい自然が広がるこの場所から物語が始まります。

❷アメリカ／カリフォルニア
アメリカ合衆国の西海岸に位置する州。観光、娯楽などのエンターテインメントから航空宇宙、情報技術といった最先端技術、そして農業にいたるまで様々な産業が盛んなことで知られる。

❸アメリカ／ヒューストン
アメリカ合衆国南部のテキサス州に位置する大都市。航空宇宙産業が盛んなビジネス都市。

❹日本／秋葉原
日本の首都・東京の一角に位置する街。電子機器やソフトウェアを扱う電気街として発展し、アニメやゲーム、音楽など様々なカルチャーで知られている。

❺パラオ
太平洋の島々からなる国。「パラオ」という国名はマレー語の「島」を意味する言葉が由来。

公演情報

◇公演日
2022年9月25日(日)　大ホール
開場／17:45　開演／18:30（上演時間：約3時間　休憩を含む）

◇入場料（全席指定・税込み）
S席 9,900円　A席 6,600円　B席 3,300円
※公演日当日3歳以上有料、2歳以下のお子様は入場不可。

◇チケット発売日
【WEB】7月16日(土)10:00～
【窓 口】7月19日(火)10:00～
ロゼシアターホームページ　http://rose-theatre.jp
ロゼシアター窓口（営業時間9:00～20:00）
SHIKI ON-LINE TICKET　http://489444.com
ローソンチケット　Lコード／45344

ROSÉ CLASSIC CAFE vol.41

ロゼ・クラシックカフェ

西洋音楽史の扉

第五話　吟遊詩人たちの華麗なる放浪旅〜中世のイケメンたち

「西洋音楽＝クラシック音楽」。何となく、こんなふうに思っていませんか？クラシック音楽は、膨大な西洋音楽史のほんの一部にすぎません。人類史をひもとくと、つねに音楽は人類とともにありました。今回は、謎と神秘に満ちた中世の宮廷文化を彩る吟遊詩人たちの物語です。

中世の恋愛寓意文学『薔薇物語』の挿絵

詩人？　歌手？　吟遊詩人の正体とは？

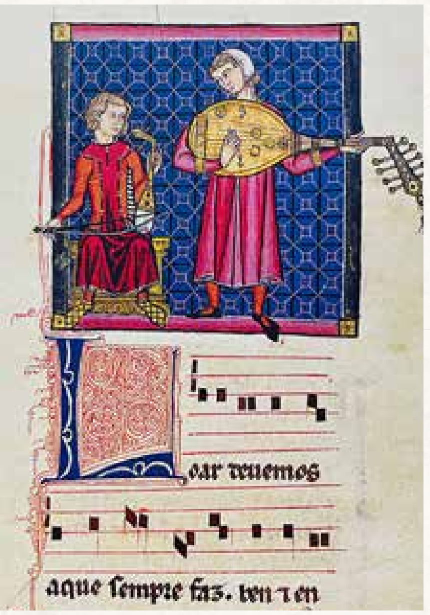
「吟遊詩人」という言葉には、楽器を手に街から街を渡り歩き、美しい声で詩や歌を吟じる自由な歌人というイメージがあります。けれどもヨーロッパの中世は、それほど自由な時代ではありませんでした。アメリカの建築史家ルイス・マンフォードは、著書『都市の文化』のなかで、こう書いています。「中世のあいだ、無所属の人間というのは追放に処せられた者か、死刑を宣告された者かであった。（略）生きるためにはひとは一つの団体、つまり一つの家族か、一つの荘園か、修道院か、一つのギルドかに所属しなければならなかった。団体の外にはどこにも身の安全はなく、共同生活の義務を認めない自由というものもなかった。ひとは自分たちの階級と組合の様式にしたがって、生きかつ死んでいった」。では、そんな時代のなかで活躍した吟遊詩人とは、どのような人たちだったのでしょうか？

トルバドゥールの誕生　ポワティエ伯ギヨーム９世

南フランスを発祥とし、愛を歌い、詩を吟じ、中世史のなかに華麗な足跡をのこしたのが、トルバドゥールです。彼らは、11世紀からはじまった十字軍遠征をひとつの契機として芽生えた騎士道文化から誕生しました。十字軍に参加して、当時のヨーロッパに比べてはるかに進歩したビザンチン文明にふれた武人たちは、その洗練された作法や文化に計りしれない影響を受けます。最初のトルバドゥールとして有名なのが、ポワティエ伯ギヨーム９世（１０７１〜１１２６）です。勇敢な戦士だった彼は、30代のはじめに従軍した十字軍では、戦いに敗れ、捕虜となるなど、波瀾万丈の生涯を送りますが、詩人でもあった彼は、中世でもっとも雅な男のひとりといわれ、数多くの女性たちを魅了しました。武人としては多くの敗北も味わいましたが、トルバドゥールの祖として、その名はいまも語り継がれています。

「恋愛　この12世紀の発明・・・」

20世紀のフランスの歴史家シャルル・セニョボスは「恋愛、この12世紀の発明・・・」という言葉をのこしています。つまり、この時代にヨーロッパでは男女の恋愛という男女間の新しい関係が生まれるのです。それまで「愛」という感情は、神に対するものであり、人と人を結び付ける感情ではありませんでした。キリスト教会は、神の前ではすべての人間が平等であるという教義を確立し、結婚の秘跡を義務づけ、夫婦の関係を解消できないものとし、結婚が有効と認められるには男女の合意が必要と定め、恋愛を復権させました。この愛を歌い、男女の恋愛という新たな愛のかたちに大きな影響を与えたのが、トルバドゥールたちだったのです。



中世の楽人たち

「アモール・クルトワ（雅の愛）」と騎士道精神

ギヨーム９世を模範としたトルバドゥールたちの発明に、「フィナモール」があります。このオック語の表現は、フランス語で「アモール・クルトワ（雅の愛）」と訳されますが、雅の愛とは、一切の俗悪を廃し、名誉の掟を定め、忠実を要求する騎士道精神にも通じる愛のかたちであり、それは恋人同士の王道として示されたのです。最初のトルバドゥール、ギヨーム９世の身分は、アキテーヌの領主でしたが、吟遊詩人たちの身分は、貴族出身者も含まれていたものの、多くは、城から城を渡り歩く傭兵や従者たちなど、無謀騎士と呼ばれた人々でした。彼らには、伯爵夫人など高貴な女性に対する崇拝があり、それは愛とともに、騎士として主人に対する忠誠の意味も含まれていました。

愛を歌う吟遊詩人たち

南フランスからはじまったトルバドゥールは、12世紀後半になると北フランスのトルヴェールとして、また、ドイツでは「ミンネザング（愛の歌）」を歌うミンネゼンガーとして、各地で異なる名称で呼ばれながらも、ヨーロッパ各地に広まっていきます。その吟遊詩人たちの活躍は、教会文化に対する世俗文化のひとつの象徴ともなっていきます。彼らはまさに、中世の光ともいえる愛を歌い、愛を讃えた詩人たちだったのです。

浦久俊彦

ドイツ宮廷のミンネゼンガー

次回は、第六話「ルネサンス音楽の栄光　知られざる宮廷音楽家レオナルド・ダ・ヴィンチ」です。お楽しみに！

参考文献
●『トルバドゥール　幻想の愛』 アンリ・ダヴァンソン著、新倉俊一訳、筑摩書房1972
●『愛と歌の中世　トルバドゥールの世界』 ジャンヌ・ブーランほか著、小佐井伸二訳、白水社　1989
●『吟遊詩人』 上尾信也著、新紀元社　2006
●La Musique au Moyen Age, Sous la direction de Vera Minazzi, CNRS Editions
●Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Univercité d'Oxford/Robert Laffont

浦久俊彦（うらひさ としひこ）
文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本藝術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督。主な著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『ベートーヴェンと日本人』（新潮社）など。最新刊は、指揮者・山田和樹との共著『オーケストラに未来はあるか？』（アルテスパブリッシング）。2021年、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。

INFORMATION from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

窓口でのクレジットカード決済導入のお知らせ

2022年4月より、会館窓口でロゼシアター主催事業のチケットをお求めの際にクレジットカード決済でのお支払いが可能となりました。

※施設貸出利用料のお支払いではご利用できません。

窓口でご利用いただけるクレジットカード

VISA　mastercard

ふじ・紙のアートミュージアム

カタチの進化論　柳井嗣雄展

開催期間　2022年 7月6日(水)～9月25日(日)　**観覧無料**

開館時間　10:00～18:00

休　館　日　ロゼシアター休館日

特別講座 アーティストトーク

7月10日(日)13:00～14:00

無料・申込不要

◎「包 -自然を包む- 漆畑勇司」
　6月26日(日)まで

◎最新情報は、当ウェブサイト・facebookをご参照ください。

ふじ・紙のアートミュージアム　http://www.fuji-paperart.jp

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地　富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)

TEL 0545-32-6581　FAX 0545-32-6582

プレゼントのご案内

Aコース、Bコース、応募方法が異なります。

Aコース　公演チケット2組4名様

『kitri～キトリコンサート2022～』

9月4日(日)　18:00開演

■応募方法：はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、下記アンケートにご回答のうえご応募ください。

① 情報誌を入手した方法または場所

② 情報誌で面白かった内容、ページ

③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先：〒416-0953　富士市蓼原町1750番地
　ロゼシアター「情報誌ロゼ119号」プレゼント係

■締切：8月10日(水)必着

Bコース　タリーズ利用券

タリーズコーヒー富士市中央公園店

ドリンク券(2枚組1,000円相当)　2名様

■対象：ロゼシアターチケット購入システム「ロゼ・フレンドシップ」にインターネットからご自身で新規登録をされた方、または＜会員マイページ＞から登録更新手続きをされた方。

■応募方法：登録または更新時に＜郵便送付／郵便・宅配便等でのご案内＞項目の「可」をご選択ください。

■対象期間：毎月1日～月末／月1回抽選

※当選発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※応募はお一人様1件まで。重複がある場合はすべて無効となります。

休館日のお知らせ

2022年

7月4日㈪・5日㈫

8月16日㈫～19日㈮

9月5日㈪

編集後記

先日、メガネを買い替えました。前に付けていたものは度数があってなかったようで、新しい眼鏡で見る世界は、くっきりと明るくなりました。感染症などいろいろなことがある世の中も、くっきり明るくなればなどと思っています。ロゼシアターでは、明るく楽しい公演をいくつも予定していますので、ぜひお楽しみください。ちなみに、“新しいメガネ”でweb検索したら、『運気が上がる』と出てきました。宝くじでも買ってみます。(わた)

本誌は5月22日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ　http://rose-theatre.jp　■Twitter　「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji　■YouTube　「ロゼシアターチャンネル」

FLASH BACK 2022.2-4

フラッシュバック

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします！　2022年2月～4月をフラッシュバック！！

めざましクラシックス in 富士

2月5日(土)　15:30開演

出演：高嶋ちさ子(ヴァイオリン)、軽部真一(アナウンサー) 他

ふじ寄席　三遊亭白鳥　桃月庵白酒　二人会

2月10日(木)
18:30開演

ロゼフォークプラザVol.18 岩崎宏美コンサート2022

2月13日(日)　17:30開演

出演：岩崎宏美　特別ゲスト：岩崎良美

青島広志の楽しくクラシック10

2月18日(金)　19:00開演

演奏：フジゾリステン　ゲスト：小野勉

新人音楽家による演奏会

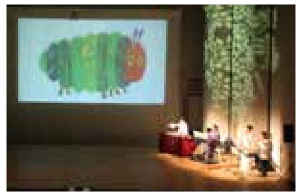
3月10日(木)　19:00開演

牛田智大ピアノリサイタル

3月17日(木)　19:00開演

ロゼこどもスプリングコンサート

4月9日(土)　1回目10:30開演　2回目13:00開演



演奏：アンサンブルローズ